

恵海著「オバマ演説と日本の責務」大機小機 日本経済新聞 2009年1月29日朝刊を読む

## オバマ演説と日本の責務

### 1. はじめに

(1)オバマ大統領の就任演説の中には、世界の人々の共感を呼ぶ。

(2)同時に、日本にも十分当てはまる言葉や表現が多数含まれていると思われる。

2. (1)例えば「今求められているのは新たな責任の時代だ。米国民の一人ひとりが自分自身、自分の国、そして世界に対して義務を負うという認識だ」というフレーズの「米国民」を「日本国民」に置き換えると見事に適合する。

(2)「責任と義務」は、現在の日本が最も必要としている認識の一つといえるのではないだろうか。

3. (1)新しい時代は米国の一国超大国に代わり、国家、国家共同体、非政府組織(NGO)、テロリスト集団などによる多極化の時代といわれる。

(2)その中で、日本が米中の中で存在感の希薄な国となることを回避し、グローバルに存在感のある国として生存していくために負う義務とは何か。

(3)安全保障や地球温暖化防止、経済安定などへの貢献だろう。

4. (1)安全保障面では、第二次大戦後のシステムが過去のものとなるなか、新たな多極化に配慮しつつも日米の実質的協力体制を再構築することによって、日米同盟を確固たるものにするのであろう。具体的には...

憲法解釈を早急に改めて集団的自衛権の行使を可能にする

インド洋での給油活動やソマリア沖での海賊対策で各国と協力し実効を上げる

北東アジアの安定を確保するため協力体制の再構築を主導する

米軍再編成の障害となっている事項を早期に解決する

などだ。

5 . 地球温暖化の防止では...

( 1 ) 2050 年までに二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量の半減を達成するための中期目標を設定し、国際的合意を主導することだ。

( 2 ) CO<sub>2</sub> 削減、エネルギー効率化、代替エネルギー開発に向けた投資への税制優遇も必要だ。

( 3 ) アジアの CO<sub>2</sub> 大量排出国企業に先端技術を供与し、それにより生じる排出権の国際取引の円滑化に努力すべきだろう。

6 . 世界経済の安定化のためには...

( 1 ) 基軸通貨としてのドルのサポートや効果的な金融監督体制の確立が必要になる。

( 2 ) また、日本企業は短期主義的経営を改め、ステークホルダー全体の利益を目標とすべきである。

( 3 ) 金融当局は...

ゼロ金利政策の採用

長期コミット

(ア) コマーシャルペーパー (CP)

(イ) 社債

(ウ) 不動産投資信託 (REIT)

} 以外の金融商品の購入も進めるべきだろう。

( 4 ) 政府は内需主導経済への転換を促進するための財政支出を増やす必要がある。

- 2009 年 1 月 29 日林明夫記 -